

太陽光発電グリーンハウスによる農業の高付加価値化・効率化の実証 (ソーラーフロンティア株式会社)

- 本実証では、太陽光発電グリーンハウス内における高付加価値農業収入および太陽光発電による売電収入により、収益性が高く、継続性ある太陽光発電グリーンハウス事業モデルの構築を行う。
- 同時に、初期投資費用回収スキーム、生産された農作物の流通、事業推進のためのファイナンス支援スキーム等本実証ビジネスモデルの普及に必要な各要素について検討する。
- 実証結果を活かし、全国への普及モデルとして発信する。

設備概要(南相馬市鹿島区1ヶ所に設置)

土地：71.4m×36m 面積 2570.4㎡
グリーンハウス：タテ：45m×ヨコ：28.8m
PV出力：50.22kW（遮蔽率25%）
（ベレクトリック社製グリーンハウス）
（ソーラーフロンティア製パネル155W製品324枚）

事業実施内容

- 太陽光発電グリーンハウスを建設することで農地の価値を最大限活用できるモデルを目指す。
- グリーンハウス農業生産性に悪影響がでないようなモジュールの設置の検証。（対屋根面積25%のモジュール設置）
- 典型的なハウス栽培農作物イチゴ、ミニトマトを栽培し、太陽光発電グリーンハウス下での生育状況を検証。
- モジュールによる影の影響、生産性担保のため一部LED照明を追加した栽培エリアを設ける。
- 専門家の意見を踏まえながら太陽光発電グリーンハウス農業の最適化を図る。
- 栽培状況につき、データ取得・分析を行い、太陽光発電グリーンハウス内農業のノウハウを確立する。
- グリーンハウス上の太陽光発電による売電事業の収益性の検証。
- 生産された農作物の流通、ファイナンススキームの検討。

